



～若き心 集まるところ～ No.3

全ての台中生の『心の笑顔』と『成長』のために

校長 力石 裕司

保護者会全体会を行いました～1年間よろしくお願ひします！

5月13日（火）に保護者会全体会を開催し、今年度の学年代表等が決まりましたのでご紹介します。

学 年	1 年	2 年	3 年
委員長	学年代表の方の名前が入ります。		
副委員長			
書 記			

保護者会運営委員会



会長	
副会長（会計）	
副会長	運営委員の方の名前が入ります。
香川小地区青少年育成推進協議会担当	
鶴が台小地区青少年育成推進協議会担当	

今年度の委員の方々だけでなく、保護者の皆様も、行事のお手伝いや保護者会ボランティアによる朝のあいさつ運動など、台中生の“心の笑顔と成長”のため、できる範囲でのご協力をお願いします！

各学年初めての校外行事

1年生 自然観察会【海】（真鶴町）5月2日（金）

2年生 野外活動（愛川ふれあいの村）5月19日（月）～5月20日（火）

3年生 修学旅行（関西方面）5月20日（火）～5月22日（木）



生徒たちは非日常での経験で、大きく成長したはず。各学年主任に行事を通して成長した生徒たちを一言で表してもらいました・・・

1年：『偶然という必然』・・・生徒たちの「観察したい」という気持ちが、あの時間だけ雨雲を遠ざけました。多くの生き物との出会いも、お気に入りの貝の発見も、会うべくして会えた大事な瞬間です。様々な出会いの瞬間を大事にしたいです。

2年：『深交』・・・学校を離れ、山深い自然の中で、様々な活動を行い、1泊を共に過ごすことで、仲間への理解が進み、たくさんの「深交」が生まれた2日間でした。

3年：『のびざかり』・・・2年次より考えた目標やルールなど、自分たちで決めた様々なことを実現させ、修学旅行を成功させようと、仲間と協力して取り組みました！ 今後は楽しみです。

7組：『キラキラ』・・・それぞれの学年での交流を通して、一人一人が輝く姿が見られました。そして7組の教室に戻ってきた生徒たちからは、経験を通しての確実な成長を感じました！

私は3年生の修学旅行に同行しました。多くの生徒が添乗員さんや看護師さん、バスの運転手さんやガイドさん、ホテルのスタッフなどに「おはようございます」「こんにちは」「ごちそうさまでした」「ありがとうございます」と、当たり前のように挨拶する姿が・・・茅ヶ崎から遠く離れた場所でも、「生徒さんたちはよく挨拶しはりますね～」などと何度も褒めてもらえたこと・・・台中生代表として了でした！

『広報ちがさき』全国広報コンクール（組み写真の部）4位入賞！

昨年度の学校だより2月号で、本校の生徒がモデルとなった茅ヶ崎市立中学校の学校給食を紹介した「広報ちがさき 12月号」が、県の広報コンクール組み写真部門で最優秀を受賞したことをお知らせしました。

その後、「全国広報コンクール」に県の代表として出展され、「広報写真（組み写真の部）」で、入選3席（4位）に選ばれました！インターネットでも紹介されていますのでご覧ください。生徒総会の後、部活動の表彰と併せて生徒に紹介すると、「お～！」というどよめきがありました。生徒会本部役員も私の言う「挨拶日本一」「校歌日本一」を自指したいという思いを受けた取組を進めている中、「全国4位の次は、まずはベスト3を目指しましょう！」と伝えると、何人もの生徒が笑顔で頷いている様子が見られました。



み だいちゅうせい
見つけた！台中学生！

I found something nice
about DAICHU-SEI!!!



毎週火曜と水曜に生徒会本部役員の「朝の挨拶キャンペーン」が行われていますが、水曜日は「アロハデーと一緒に盛り上げたい」という思いで、正門で登校する生徒を迎える本部役員が「おはようございます！アロハ～！」と声をかけています。5月のある日、校長室から様子を見てみると、多くの生徒が手で“シャカサイン”を作りながら「アロハ～」と返し、お互いが笑顔になっている場面を目にしました。

それが、「アロハ」でも、「プエノステアス」「ボンジュール」「ザオシャンハオ」「アンニョンハセヨ」「ナマステ」・・・なんでもいいのです。人同士の関わりの中で、双方が笑顔になれる、そのことが「挨拶のよさ・大切さ」だということを再認識できる瞬間でした。生徒会本部役員には「挨拶日本一」に向けての後押しを期待します！

きょうしつ い
そうだ、教室へ行こう！



じゅぎょう ようす せんせいがた
授業の様子・先生方のこだわりなどを発信します！

授業の様子の写真が入ります。今回は3年生の英語の授業です。担当の先生が、本当のコミュニケーションを通して世界を広げてほしいという思いから、市の職員とコラボし、英語の授業でホノルルの子どもたちと交流するプロジェクトを始めました。この日は最初の授業で、茅ヶ崎市教育委員会のお二人の指導主事と秘書課の職員お二人を招いてのガイダンスでした。

指導主事のお二人は、元々中学校の英語教員で、数年前、市の教員派遣事業で、私と一緒にホノルルへ行き、現地の子どもたちに日本のことについての授業をするなど、教育分野での姉妹都市交流を進めてきました。その経験から、今回、姉妹都市交流を担当する市の職員のお二人とともに、台中学生のためにお手伝いしてくれることになりました。尚指導主事も、久しぶりの“授業”を楽しんでいました！

いつもと違う“先生”から、いつもと違う授業を受けた生徒たちは、これからどんなことができるのだろうとわくわくしている様子でした。授業後、生徒からは、『今まで学習した英語を実際の交流に使った経験がないので、とても嬉しです。これまでの学習の集大成として頑張っていきたいです！』との声が聞かれました。担当の先生は、『この貴重な機会を生かして、台中や茅ヶ崎のことをたくさんホノルルの子どもたちに発信できるよう、生徒たちと頑張ります！』と意気込みを伝えてくれました。この取組で生徒たちの“世界”が広がることを期待します！



きょうとうせんせい つぶやき・・・
教頭先生のつぶやき・・・

毎年、5月と10月に地域の方のご厚意により、体育館前の花壇に色とりどりの花を植えていただいています。今年も黄色と橙色のマリーゴールドを100株植えていただきました。一緒に植えていたときに、「生徒の皆さんが少しでもこの花を見て、明るい気持ちになってくれたら、うれしいな。私たちも歳だから生徒と一緒にできると・・・」と話されていました。生徒にとっても、地域の方とこのような活動と一緒にやる機会があると、地域の方の温かさに触れる機会にもなるのではと思いました。